

給油装置一覧表



7S : スリム・スモール・ショート・シンプル・スマート・スピーディ・サイレント
安全・環境保全・低価格・高品質・CS向上

作成、2008.05.02

カタログNo 0908-A

| No | 給油器 タイプ | | ノズル タイプ | ポンプ タイプ | タンク 仕様 | 給油 始停 | 対象物 代表 | 仕組み | | メリット | デメリット |
|----|---------|------|------------|------------|-----------|----------|-----------|-------------------------------|---------------|------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| | 型式 | | | | | | | | | | |
| 1 | 自重落下 | BM | ブラシ | — | タンク一体 | 手動 | チェーン/レール | 油タンクを上へ配置し、自重で油を垂らす方式 | | ①安価である。 | ①微調整が難しく給油量が多くなる。 ②ブラシが直接触れるので磨耗しやすい。 |
| 2 | 自重落下 | BA | ブラシ | — | タンク一体 | 自動 | チェーン/レール | | | | |
| 3 | エア噴霧 | TM | 噴霧 | — | タンク一体 | 手動 | ベアリング | エアで油を送り霧状にして吹付ける方式 | 給油部で油を補給 | ①高粘度油でも給油できる。 ②比較的成本安い。 ③奥まで油が入る:短時間で全体に給油がいきわたります。 | ①空气中にオイルを散乱しやすい。 :給油装置部にカバーを取り付けることで散乱を比較的抑えることが可能です |
| 4 | エア噴霧 | TA | 噴霧 | — | タンク一体 | 自動 | ベアリング | | タンクを地上に設置できる。 | | |
| 5 | エア噴霧 | PT M | 噴霧 | — | 圧送タンク | 手動 | ベアリング | | | | |
| 6 | エア噴霧 | PT A | 噴霧 | — | 圧送タンク | 自動 | ベアリング | | | | |
| 7 | 戻り定量弁 | B GP | ブラシ | ギヤポンプ | 地上置き | 自動 | チェーン/レール | 連続的な物に適している | | ①1台のポンプで多数の箇所へも、給油できる。 ②ノズル交換のみで、給油状態を変更可能。 ③エア噴霧に比較して空气中にオイルを散乱させにくい。 | ①ポンプが遠いと注油タイミングが取りにくい。 |
| 8 | 戻り定量弁 | B AP | ブラシ | エアポンプ | 地上置き | 自動 | チェーン/レール | 定量弁へ油を送り、送り圧を切った時点で油が注油される方式。 | | | |
| 9 | 戻り定量弁 | S GP | ショット | ギヤポンプ | 地上置き | 自動 | ベアリング | 狙い撃ちの物に適している。 | | | |
| 10 | 戻り定量弁 | S AP | ショット | エアポンプ | 地上置き | 自動 | ベアリング | | | | |
| 11 | 戻り定量弁 | P GP | パイプ | ギヤポンプ | 地上置き | 自動 | チェン | 油を多く給油できる。 | | | |
| 12 | 戻り定量弁 | P AP | パイプ | エアポンプ | 地上置き | 自動 | チェン | | | | |
| 13 | 直動定量弁 | S GP | ショット | ギヤポンプ | 地上置き | 自動 | ベアリング | 高圧油を定量弁へ入れ込んだ瞬間に油を吐出する方式。 | ピンポイント給油が可能 | ①高頻度でピンポイント、ジャストタイミングで微量給油が行える。 | ①ノズルのそばにSOL弁、ACタンク戻りホースが必要 ②タイミング検出器と制御が必要 |
| 14 | 直動定量弁 | P GP | パイプ | ギヤポンプ | 地上置き | 自動 | チェン | | | | |

給油箇所

- ①ベアリングのボール部
- ②動作する、ピン、リンク、ローラー、プッシュの摺動部
- ③摺りあうプレート部、ドッグ部
- ④レール軌道面

起動時自動給油



チェンへの噴霧給油



キャリアへのショット給油



キャリアへの
ブラシ給油



B M B A B AP B GP

キャリアへの
ショット給油



S AP S GP

注意
点

A:ポンプからノズルまでは、鋼管または硬質ビニールホースを使用する。
 B:エアピストンポンプは送り量が決まっているため、ノズル量と距離に制限あり。
 C:抵抗オリフイスをつけると給油量を微量にできる。
 D:コンベアチェンは Coスピード 8m/min以上は、連続給油が 望ましいです。
 噴霧式(TM、TA、PT M、PT A)、ブラシ式(BM、BA、B AP、B GP、)
 E:タンクからの距離については、
 エアポンプ: ≒5m
 ギヤポンプ: ≒30m
 圧送タンク: ≒30m
 を 目安としてください。